

台湾

中期的視点による重点的取組

観光誘客及び民間交流の拡大と県産品の輸出拡大

令和4年度の評価

★観光誘客

○航空路線の早期復便・観光誘客

- ・11月、出野副知事がチャイナエアライン本社を訪問し、静岡ー台北線の早期復便を働きかけ
- ・インバウンド需要の早期回復に向け、チャイナエアラインと連携したファミツアー・県内観光業者との商談会（旅行会社8社、プレス2社が参加）や、オンライン観光商談会を開催（参加者約70社）。中高価格帯の商品企画を促進
- ・本県へのパッケージツアーを催行する台湾の旅行会社に支援金を交付。46件、1,008人分のインバウンド誘客を実現

★民間交流の拡大

○各分野における交流人口の拡大

- ・オンラインによる学校間交流のマッチングを支援（本県11校、台湾9校）。コロナ禍で国際交流の機会が途絶えた青少年に国際交流の機会を提供し、学校間交流の拡大に貢献
- ・台湾教育部と連携した高校生の防災教育オンライン交流により、防災分野での連携を強化
- ・台北サイクル2023のブース出展やサイクリング団体訪問により、本県へのサイクルツーリズムをPR

★県産品の輸出拡大

○県内企業の販路開拓

- ・「ふじのくに通商エキスパート」が相談・商談等82件、調査15件、広報・その他55件を実施し、県産品輸出拡大に貢献
- ・静岡茶の魅力発信と他産地との差別化を図るイベントを開催（現地バイヤー20人参加）。

現状・課題

★人的往来の再開・活性化

- ・新型コロナによる渡航制限緩和により人的往来が再開
- ・本格的な観光往来回復に向け、集中的な需要喚起策の実施が必要
- ・市町や学校等におけるオンライン交流から対面を併用した交流への転換を支援し、往来人口の増加を図ることが必要

★地域間交流の促進

- ・米中対立や令和6年1月の台湾総統選挙等、政治的な緊張感が高まる中、通商・観光・教育等幅広い分野における相互にメリットのある交流の促進が重要

令和5年度の取組

★観光誘客

○航空路線の早期復便・観光誘客

- ・静岡ー台北線の早期復便を目指し、航空会社への働きかけや航空会社と連携したプロモーション等需要回復のための施策を展開
- ・インフルエンサーやWEBプロモーションによる認知度向上、本県を目的地とする訪日旅行に対する支援等による魅力的なコンテンツづくりにより、インバウンド需要の喚起及び旅行商品の販売を促進
- ・訪日教育旅行の本格的な再開に向け、プロモーションを実施
- ・現地イベントや駐在員事務所の持つ広報ツールにより、本県及び日本の文化的魅力を発信

★民間交流の拡大

○各分野における交流人口の拡大

- ・教育旅行による往来等、学校間の対面交流の実現に向け、オンライン交流のマッチングを継続
- ・台湾の防災を学ぶ高校生（防災青年大使）を招へいし、県内高校生との交流等を実施。防災分野における交流の裾野拡大と連携を強化
- ・スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、台北サイクルへの出展、サイクリング団体等による交流を支援
- ・ビジネスインターンの受入による活力取り込み
- ・富士山・玉山の友好山交流、台湾鉄路弁当節や台北国際旅行博覧会での鉄道交流

★県産品の輸出拡大

○県内企業の販路開拓

- ・「ふじのくに通商エキスパート」の活用
- ・重要輸出県産品を始めとする県産品の新たな海外販路拡大を目的としたブランディング支援



出野副知事のチャイナエアライン訪問



台北サイクル2023



防災教育オンライン交流（静岡会場）